



大阪商工会議所×UR都市機構 まちなかりビングラボプロジェクト  
大阪城東部地区（UR森之宮団地等）における実証実験  
「樹木管理システムの構築」の実証実験を開始



# 樹木管理システムの実証実験 実施中

2024年10月1日 ~ 2025年3月31日

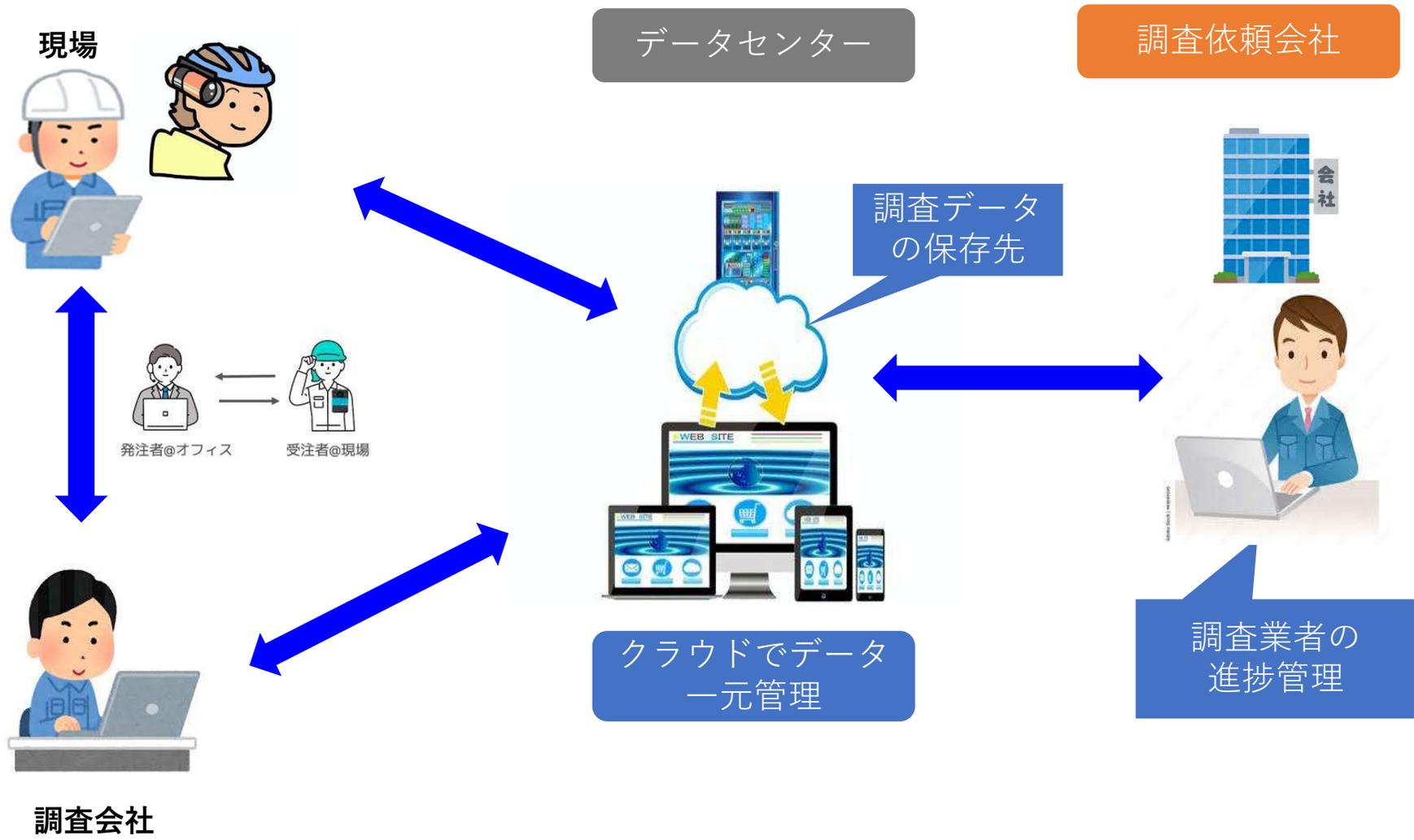


株式会社リアライズ造園設計事務所

JUSTICE株式会社ジャスティス

株式会社Andeco

# 樹木管理システムイメージ図



# 樹木管理システム構成図

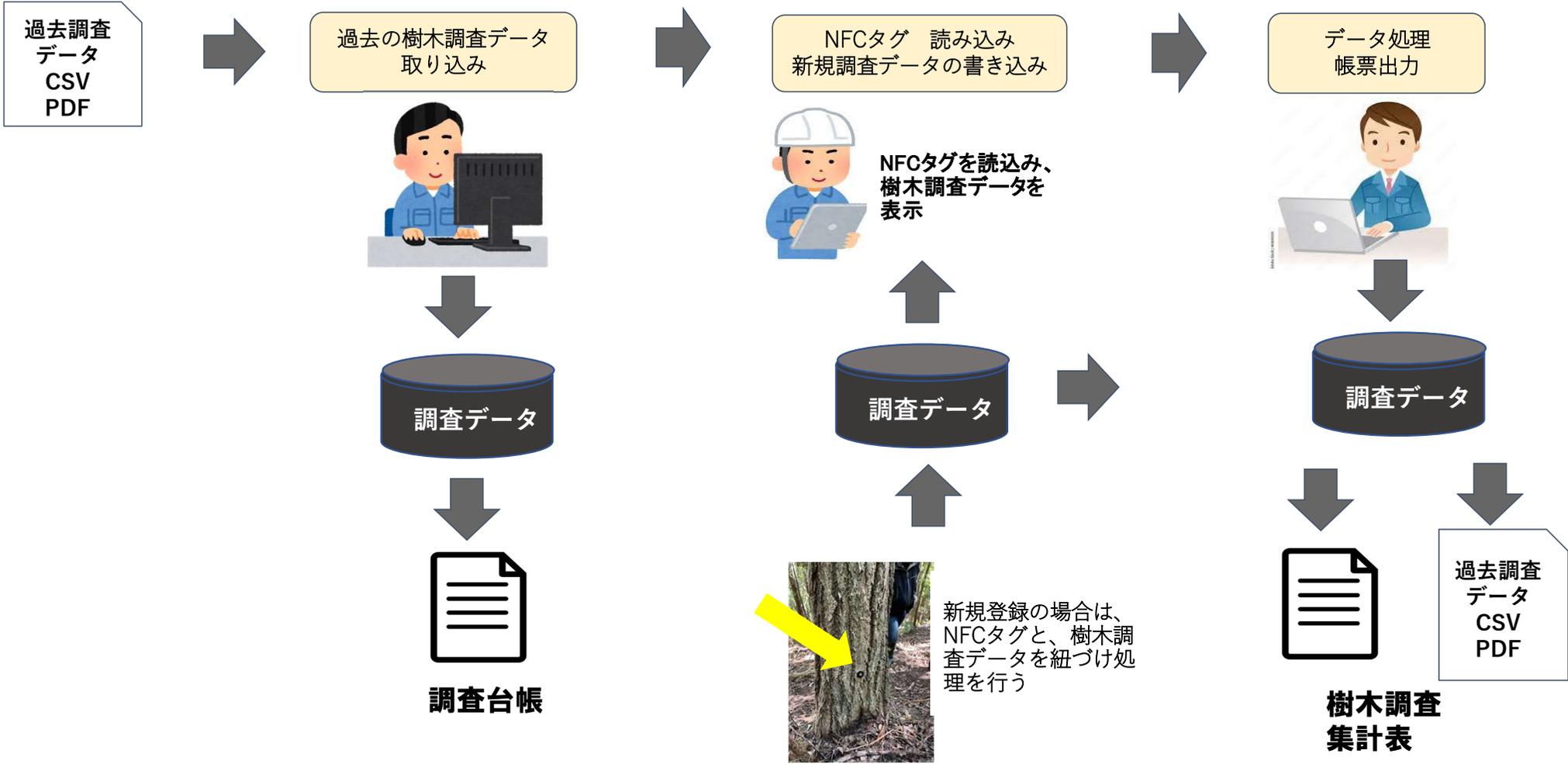
クラウドベースとして、入力はNFCに対応するスマホやタブレットで実施。  
閲覧や管理等は、PCベースで作業とする。



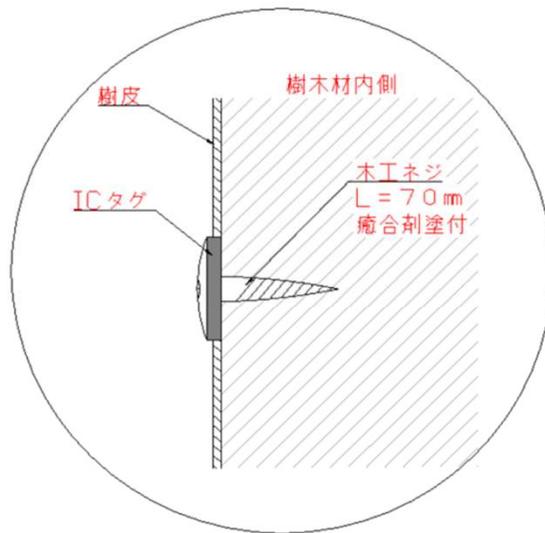
# 樹木管理システム概要

- ① 樹木にICタグを活用してデータ管理を行う。
- ② ICタグの読取り・データ入力のデバイスは、タブレット及びスマホで行う。
- ③ 樹木の管理本数に対応するために、データ形式、記載項目など様式を決めて、少なくとも継続的に10年以上のデータ蓄積が可能
- ④ 団地内の樹木を1本単位に、調査入力データ、写真、樹木の位置(地図情報)を管理できる。
- ⑤ 個々の樹木の過去の管理実績(病虫害への対応実績、剪定作業の実績、自然災害などの事故実績など)の把握を総括的に行うことで、危険管理機能及び危険予知機能を高める。
- ⑥ 樹木管理の関係者(調査現場、管理事務所、支社)が情報共有・判断、指示、対応がリアルタイムに対応できる。

# 樹木管理システム業務フロー



# NFCタグの取付け方法

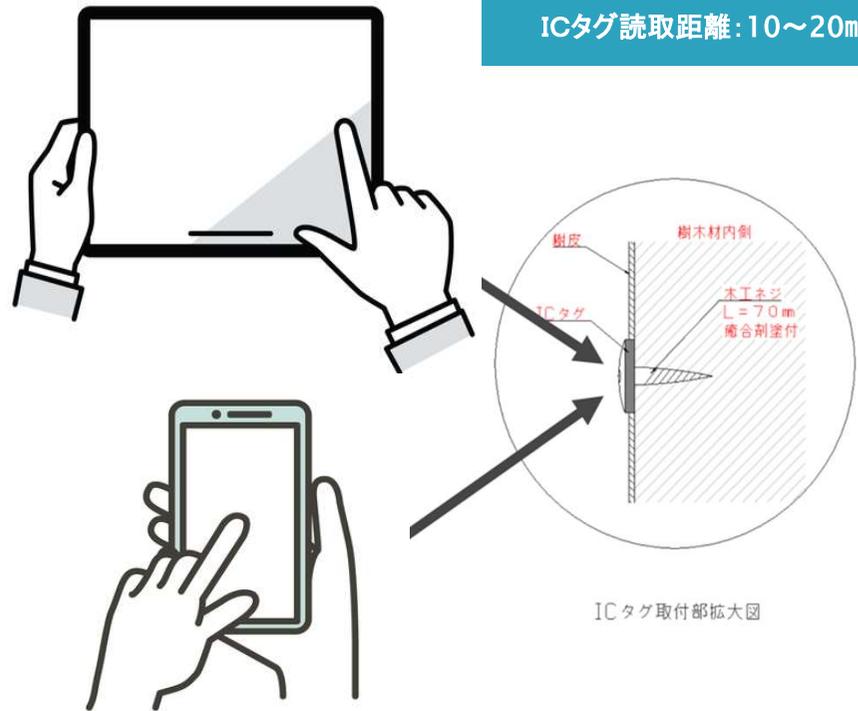


ICタグ取付部拡大図



樹木に木ネジで取り付ける。

# 樹木管理データの入力方法



データ入力は、NFCタグを読み込み後に、スマートフォンもしくは、タブレットによって行います。